

学校の教育目標	東京都、江戸川区の教育目標を受け、伝統ある南小岩小学校の児童としての自覚をもち、人間尊重の精神を基盤とし、社会の変化に主体的に対応できる力を育むとともに、生涯にわたって学び続ける意欲、基礎・基本の定着、思考力・判断力・表現力等、子どもの個性や能力等を培い、社会性や、国際感覚及び伝統と文化を尊重する、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。 本年度は、本校の教育課題や学校評価の結果を考慮し、教育活動全体を通して、「よく考える子」の育成に重点を置く。
---------	--

特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して様々な資質・能力を育成することを旨とする。
---------	---

目指す子供像	○ 活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○ 集団の中で、互いのよさや考えを認め、尊重し合うことができる子
--------	---

特別活動の重点目標	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
-----------	--

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために合意形成し、役割を分担しながら協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすること、自主的、実践的に取り組むことを通じて、上記の重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通じて、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通じて、個性の伸長を図りながら、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら様々な資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	○ 楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を育むために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○ 自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな「学級や学校での生活づくり」に参画できるように自主的、自治的な態度を育成する。	異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にこれかこれをも、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組ませる。そのため、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。	学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにする。また、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特長をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにする。役割を担ってその責任を果たすことができるようにする。共に喜びや苦労を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにする。このような、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活の諸問題 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己表現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の活用	学校の全児童をもって組織する児童会において、以下の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動意を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるようにする。 (1) 児童会の組織づくりと児童会の計画 運営 (代表委員会、各種委員会) (2) 異年齢集団による交流 (児童集会、全校遠足、1年生を迎える会、6年生を送る会) (3) 学校行事への協力	主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、以下の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動意を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるようにする。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	(1) 儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折目目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事：平素の学習の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりすること。 (3) 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 遠足・集団宿泊の行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ。また、人間関係など集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養い体験が得られるようにすること。
配当時間	(1) 1、2年 20、3～6年 25単位時間  (2) 1、2年 15、3～6年 10単位時間	1～4学年 10単位時間(集会) 5・6学年 35単位時間 (集会 10、各種委員会 11)	11単位時間	・儀式的行事：1年3単位時間、2～4年2単位時間、6年5単位時間 ・文化的行事：1～5年6単位時間、6年8単位時間 ・健康安全・体育的行事：1～3年5単位時間、4年7単位時間、5、6年6単位時間 ・遠足・集団宿泊の行事：1、2年10単位時間、3、4年5単位時間、5、6年8単位時間 ・勤労生産・奉仕的行事：2単位時間
他の教育活動との関連	各教科	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自立的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○ 儀式的行事：学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一人としての自覚を高めるようにする。 ○ 文化的行事：国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○ 健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成。 ○ 遠足・集団宿泊の行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養い体験を行う。
	道徳	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを重視する。中学年では、友達と互いに理解し助け合うこと、みんなで協力して楽しい学級をつくることを重視する。高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを重視する。上学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを重視する。5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活よりよき心をもつこと、だれに対しても思いやりの心をもつこと、相手の立場に立って親切にすることを重視する。
域や連携	外国語活動	外国語(活動)で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	「相手との関係を円滑にする」、「お互いに認め合う」、「異学年同士、進んで関わる」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語(活動)で身に付けた、国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
	総合的な学習の時間	学級の諸問題を解決するために、自ら課題を見つけ、主体的・協同的に実践する態度を生かす。	問題解決のプロセスにおける創意工夫や主体的・協働的な態度を生かし、活動を展開する。	環境・自然を課題とした体験活動と遠足・集団宿泊の行事との関連、また、社会との関わりを考える体験活動と勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や連携	個々の家庭の状況に配慮し、地域の人材を活用しながら、楽しく豊かな学級生活づくりを展開する。また、基本的な生活習慣、健康で安全な生活態度、望ましい食生活の形成などは、家庭との連携を図り、効果的に指導する。	家庭や地域の協力を得ながら、楽しく豊かな学校生活づくりを展開する。また、地域の福祉に携わる人々の協力を得る活動も取り入れていく。	児童の興味・関心を基本とし、家庭の協力を得て、楽しい活動を展開する。また、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域の人々が参観しやすい期日などを考慮する。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得て、連携を図る。